

昭和枯れすすき (1975)

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 87分

初公開日 1975/06/07

公開情報 松竹

【解説】

結城昌治の『やくざな妹』を新藤兼人が脚色し「砂の器」の野村芳太郎が監督。川又昂のカメラが当時の繁華街やアパート群を活写していて、効果を上げている。

刑事の原田には、洋裁学校に通っている妹の典子がいる。二人は青森を遠く離れ、十二年前から東京で二人暮らしをしていた。原田はある日、典子がチンピラの吉浦と付き合っていることを知る。妹本人に問い詰めると、彼女はすでに洋裁学校を辞めていて、今はスナックで働いているという。その吉浦の死体が発見され、現場には典子のネックレスが落ちていたのが見つかる。原田は必死に捜査を続けるが、妹との間の亀裂が徐々に大きくなっていくのを感じていた。

【クレジット】

監督 野村芳太郎

製作 杉崎重美

原作 結城昌治

脚本 新藤兼人

撮影 川又昂

美術 森田郷平

編集 太田和夫

音楽 菅野光亮

助監督 三村晴彦

出演 高橋英樹

秋吉久美子

池波志乃

伊佐山ひろ子

鈴木瑞穂

松橋登

下条アトム Atom Shimojo

稲葉義男